国際共同研究者養成プログラム報告書(2023年度分)

報告日:2024年3月11日

国際共同研究に関して、記入日時点の研究成果、研究成果の発表予定について具体的に記入してください。

<u> </u>	
所属名	海事科学研究科
氏名	平田 燕奈
研究タイトル	フィリピンにおけるフィジカルインターネット(PI)導入ロードマップの策定に
	おける主要要因と優先事項の特定
研究目的	本共同研究は、国横断的研究プロジェクトとして、ジア太平洋・東南アジア(AP
	&SEA)地域における物流分野のPIについて、地域的・国別の背景に即した研究・
	イノベーションビジョンと戦略的実施経路を確立することを目的とする. 本共同
	研究では、以下の問いを明らかにする.
	「AP&SEA地域におけるPIビジョンとロードマップの最も重要な構成要素と優先
	テーマは何か?」
研究報告	【研究内容】
(内容および成果)	① AP&SEA地域におけるPIビジョンとロードマップの最も重要な優先テーマの
2000字以内	特定
	2023年11月22日,「Meeting the Global Logistics Challenge in the
	Philippines through the Physical Internet」と題したセミナーをフィリピン
	の産業界向けに開催し、アンケート調査によりデータを収集した. 収集したデー
	タはDEMATEL法等の手法を用いて解析した.
	②AP & SEA地域におけるPI ビジョンとロードマップの最も重要な構成要素の特定
	機械学習手法を用いて、PI関連文献(論文2600本程度)をシステム的にレビュー
	し、最も重要構成要素を特定した。
	【研究成果 (共著論文)】
	①【論文1】
	「Logistics hub and route optimization in the physical internet paradigm」
	と題した共著論文(筆頭著者)をWoS収録ジャーナル「Logistics」に投稿され、
	現在査読中である.
	②【論文2】
	「Semi-systematic review of the main topics on the Physical Internet from
	2011 until 2023: A Natural Language Processing Approach」と題した共著論
	文(筆頭著者)をWoS収録ジャーナル「Transportation Research Part E: Logistics
	and Transportation Review」への投稿に向けて最終準備中である.
研究成果の発表予	【学会報告】
定	上記論文1の研究内容は、2023年11月26日に開催された第 68 回土木計画学研究
	発表会にて発表済み.